

# 酒統だより

第30号(通巻39号) 令和4年3月  
酒田市統計調査員協議会/酒田市

フラワー長井線  
長井市役所視察

駅と一体になった全国初の市庁舎

## 新庁舎建設と まちの賑わい創出

令和3年5月にオープンした長井市役所新庁舎。  
フラワー長井線の駅舎と一体になった庁舎は全国的にも珍しく注目を  
集めました。協議会では、11月19日に長井市を訪問、庁舎整備の  
経過について建設課の高石係長より講話をいただきました。



4月まで使用されていた旧庁舎は1958年の建築。竣工より50年以上が経過した為、老朽化し、さらに業務や組織の拡大に伴う狭隘化から庁舎機能を市内に分散せざるを得ない状態が続いていました。一方、防災面では、東日本大震災を機に耐震改修を行ったものの、防災拠点としての建築強度を満たすことができず、加えて市内を貫流する最上川の近くに立地していたために、水害時の浸水も予想されていたといえます。

新庁舎建設に関しては、H28年に基本構想、H29年には基本計画が策定され、防災機能、住民の利便性、実現性の観点から、長井駅周辺への移転が進められました。長井駅付近は、旧庁舎よりも4mほど土地が高く浸水の恐れがないこと、利便性の観点では、市の部局を一箇所に配置できる広さがあり、中心市街地や駅を利用する住民のアクセスが良いことが評価されました。

さらに、駅周辺の土地を長井市が所有していたことから、中心市街地での大規模開発にかかわらず、用地取得に係る時間、費用、マンパワーを大幅に軽減できる点も強みでした。

駅やその周辺については、もともと山形鉄道(株)(フラワー長井線)の所有地でしたが、H28年度上下分離方式\*の採用により、長井市が譲渡を受けたもの。市ではその土地を活用し新たに庁舎や町おこし拠点の整備を行うことができました。

新しくできた庁舎は、線路沿いに南北170m、3階建て、延べ床面積8,319㎡。デザインには市内に残る商家建築の「縦格子」の意匠を取り入れました。また、仕切りのないオープンフロアやローカウンターを採用、市民が頻繁に立ち寄る窓口を1Fに配置したり、駅舎、貸館、防災拠点からなるまちなか交流施設を併設することで、住民の利便性の向上に

努めたそうです。

一同は、講話後、建設課の高石係長の案内で、庁舎見学。開放感のあるフロアや吹き抜けになった駅舎ホール、屋上からの西置賜の山々の眺めを楽しみました。

上下分離方式\* 鉄道会社等の土地、施設及び設備等について、地方公共団体などに譲渡し、それらの維持・保守コストから解放されることで、鉄道会社は、運行サービスに特化し、安定的な経営に専念することができる。

## フラワー長井線☆道中記

JR山形駅8:15発のぼり普通列車に乗り長井市視察へ。乗換駅の赤湯では一両編成のワンマン電車が止まっており、車内には社用と思しき乗客数名が発車を待っています。一同がシートにつくや電車は出発、「南陽市役所」等の各駅を経ておよそ40分で長井駅に到着しました。短い電車の旅、駅のホームでは、山形鉄道(株)の公認キャラ「鮎貝りんごさん」が我々を出迎えてくれました。



11月18日

# 第47回山形県統計大会 本協議会関係者66名が表彰

11月18日 山形市テルサホールにおいて47回山形県統計大会が開催され、本協議会の阿部雅子さん（統計協会会長感謝状受賞）ほかが永年の功労を認められ、統計協会より表彰を受けました。

統計大会は、統計の日にあわせ県統計協会が実施するもので、統計調査員の顕彰やグラフコンクール表彰、大会宣言の採択が行われます。調査員顕彰では功績のあった調査員440名に会長表彰、感謝状が贈られたほか、総務大臣表彰、経済産業大臣表彰、知事表彰などの伝達が行われました。本協議会関係では、各大臣表彰、知事表彰含め66名の方が受賞されています。グラフコンクールの表彰をはさんで行われた「大会宣言」ではSDGsやコロナ対応など新しい社会課題を受け統計データの重要性がより高まることから、適正な調査とその結果を郷土発展に還元できるよう、調査員相互が研鑽と努力を重ねてゆく必要性が確認され原案採択されました。



## 受賞された皆さん おめでとうございます。

【総務大臣表彰5名】佐藤 文司、庄司 隆、佐藤 豊、五十嵐 伸一、池田 興喜男

【経済産業大臣表彰2名】田中井 豊男、伊藤 良子 【知事表彰1名】小松原 久子

【統計協会会長表彰33名】林 礼子、宮崎 重松、池田 政之、佐藤 茂夫、田中井 豊男、加藤 弘子、堀井 俊子、伊藤 良子、伊藤 隆規、早坂 信子、加藤 修、丸藤 純子、澤口 厚子、佐藤 美月、池田 整、後藤 嘉弥、高橋 久治、齋藤 千鶴、後藤 幸雄、和島 勝光、佐藤 真里、加藤 健、菊地 義信、田村 美和、渋谷 優子、阿部 新悦、大瀧 一郎、金子 守利、佐藤 進、高橋 和秀、齋藤 秀喜、新館 健一、高橋 忠信

【統計協会会長感謝状20名】後藤 薫、菅原 律子、阿部 敏一、高橋 正志、阿部 雅子、菊池 一雄、池田 洋二、小野寺 昭浩、金内 咲子、前田 周作、丸藤 友勝、池田 昌子、佐藤 正幸、阿曾 正敏、小林 清一、土田 富美雄、阿部 敏明、佐藤 祐子、吉高 利子、高橋 逸子

【県統計調査員協議会連合会感謝状5名】小松 末子、兼子 やす子、堀 榮台、村上 榮弥、佐藤 忠

【市民表彰2名】若松 正義、兼子 やす子

(敬称略・順不同)

11月5日

## 若松さん（松山）兼子さん（酒田）市民表彰！

令和3年度酒田市顕彰式

市民生活向上や公共的活動に尽くされた方などに贈られる酒田市民表彰。11月5日にベルナール酒田で顕彰式が行われ、若松正義さん（松山）、兼子やす子さん（酒田）ほか各賞の受賞者13名が清れやかな式典に臨みました。若松さんはS44年より52年間にわたり調査員として活躍したほかH13年より松山町統計調査員協議会副会長、H19年からR2年まで本協議会副会長を務めました。兼子さんはS60年より139回の調査に携わりました。市民表彰を統計調査員が受けるのはH27年より6年ぶり。



登録調査員向け研修動画  
ご視聴ください！

統計調査員の皆さんが活動するにあたり、調査の仕組みや調査員の役割、仕事などについて、正しい知識を身に付けていただくための動画が完成しました。



YouTube

スマートフォン・タブレットより、左のQRコードでYouTubeにアクセス、皆さん、視聴の上、自己学習にお役立てください。

## 令和4年度酒田で行われる主な統計調査

R4年度に酒田市の調査は、就業構造基本調査、住宅土地統計調査単位区設定、同試験調査の三つ。お住まいの近くで調査が行われる場合など、事務局より連絡を差し上げることがありますので、積極的に協力願います。

調査名	就業構造基本調査	住宅・土地統計調査 単位区設定	住宅・土地統計調査 試験調査
概要	全国の就業状態を調査し、就業構造に関する基礎資料を得る。	令和5年の住宅・土地統計調査実施にあたり、調査区域の下調べを行うもの。	令和5年の住宅・土地統計調査実施に当たってのリハーサル。
調査日	令和4年10月1日	令和5年2月1日	令和4年6月22日
調査員数	指導員5名 調査員50名	調査員14名	調査員2名
規模	50調査区 800世帯	150調査区	8調査区 136世帯
周期他	5年周期 抽出	5年周期 抽出	単発 全国10市